



ヴァイオリン 三浦文彰

次代の巨匠ヴァイオリニストと贈る
ブラームス最高傑作

新日本フィルハーモニー交響楽団



ブラームス
ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 Op.77
交響曲第1番 ハ短調 Op.68



© K.Miura

2026.5.29 金 19:00 開演
[18:15 開場]

福岡シンフォニーホール

アクロス福岡 福岡市中央区天神1丁目1-1

チケット料金(全席指定 / 税込)

S席 11,000円 / A席 10,000円 / B席 9,000円 U25 4,500円

※事情により公演内容が変更となる場合があります。未就学児童の入場はご遠慮願います。

一般発売 / 12月14日[日]

アクロスWEB先行発売 / 12月6日[土]

主催 | 読売新聞社、FBS 福岡放送、(公財)アクロス福岡

後援 | 福岡市

プレイガイド

アクロス福岡チケットセンター(2F) 092-725-9112

アクロス WEB チケット

<https://www.acrosticket.jp>

チケットぴあ

<https://t.pia.jp> (Pコード : 310-218)

ローソンチケット

<https://l-tike.com> (Lコード : 81488)

イープラス

<https://eplus.jp>

| 公演に関するお問合せ | アクロス福岡チケットセンター

092-725-9112 (10:00~18:00)

世界で活躍する佐渡裕、アクロス福岡に2年ぶりに登場！



佐渡裕 指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団 ヴァイオリン：三浦文彰

トップアーティストの「饗宴」で味わう Brahms!

音楽評論家 奥田佳道

マエストロ佐渡裕とヴァイオリンの三浦文彰がブラームスを奏でる。ファン憧れのトップアーティストの「饗宴」に胸ときめく。愛すべきキーワードが浮かぶ。音楽の都ウィーンだ。佐渡も三浦もウィーンから檜舞台に羽ばたいた。ドイツ北部の港街ハンブルクに生れたブラームスも20代の終わりからウィーンに住み、ゴールドの装飾もまぶしい、あの楽友協会の監督も務めた。ブラームスはお気に入りの避暑地で創作のペニンを執る夏の作曲家だった。傑作の誉れ高いヴァイオリン協奏曲は、オーストリア南部ヴェルター湖畔の美しい村ペルチャッハで書かれた。壮大にして優美。三浦が紡ぐ流麗かつ技巧的なソロパートばかりでなく、オーケストラがまた素晴らしい。夢見るような調べもハンガリー舞曲に通じる躍動感も聴こえてくる。練達のキャリアを誇る佐渡が、劇的な交響曲第1番に腕をふるう、と記しただけで早くも興奮を隠せないファンも多いことだろう。ここへきて演奏のクオリティをぐっと高めている新日本フィルハーモニー交響楽団と佐渡のステージは、いま音楽シーンの華だ。喝采が早くも聴こえてくるかのよう。ブラームスづくしのロマンティックなコンサート。開演が近づいてきた。

三浦文彰

Fumiaki MIURA (ヴァイオリン)

ハノーファー国際コンクールにおいて、史上最年少の16歳で優勝。国際的に一躍脚光を浴びた。18年サントリーホールARKクラシックスのアーティスティック・リーダー、24年に宮崎国際音楽祭の音楽監督に就任。ロサンゼルス・フィル、マリインスクー劇場管、イスラエル・フィル、ベルリン・ドイツ響、NDRエルバ・フィルなどと共に。共演した指揮者ドウダメル、ゲルギエフ、フェデセーエフ、ズーカーマン、ロウヴァリ、フルシャなど。ロイヤル・フィルのアーティスト・イン・レジデンスも務めた。室内楽では、ズーカーマン、マイスキー、ビリスなどと共に。国内では、大河ドラマ「真田丸」テーマ音楽を演奏したことやTBS「情熱大陸」への出演も大きな話題になった。24年、デビュー15周年を迎え、ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会を行い絶賛を博した。25年には、フィルハーモニア管、バンベルク響と共に。CDはエイベックスよりリリース。09年度第20回出光音楽賞受賞。使用楽器は株式会社クリスコ(志村晶代表取締役)から貸与された1732年製ヴァルネリ・デル・ジェス「カストン」。

© Masahiro Uto

佐渡裕

Yutaka SADO (指揮／音楽監督)

京都市立芸術大学卒業。レナード・バーンスタイン、小澤征爾らに師事。1989年ブザンソン指揮者コンクール優勝。95年第1回レナード・バーンスタイン・エルサレム国際指揮者コンクール優勝。これまでパリ管弦楽団、ケルンWDR交響楽団、バイエルン国立歌劇場管弦楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団等、欧州の一級オーケストラに多数客演を重ねている。2025年6月までオーストリアの名門トーンキュンストラー管弦楽団音楽監督を10年間務め、その後同楽団名誉指揮者に就任。国内では兵庫県立芸術文化センター芸術監督、新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督、シエナ・ウインド・オーケストラ首席指揮者、「サントリー1万人の第九」総監督などを務める。CD録音は多数あり、最新盤はトーンキュンストラ管弦楽団を指揮した22枚目のCD「マーラー:交響曲第6番」。著書に「僕はいかにして指揮者になったのか」(新潮文庫)、「棒を振る人生~指揮者は時間を彫刻する~」(PHP文庫/新書)など。

オフィシャルファンサイト
<http://yutaka-sado.meetsfan.jp>



© Peter Rigaud c/o Shotview Artists

新日本フィルハーモニー交響楽団



1972年、小澤征爾、山本直純の下、自主運営のオーケストラとして創立。97年、すみだトリフォニーホールを本拠地とし、日本初の本格的フランチャイズを導入。定期演奏会や特別演奏会の他、地域に根ざした演奏活動も精力的に行う。

99年、小澤征爾が桂冠名誉指揮者に就任、歴代の指揮者には、初代音楽監督・小泉和裕(75~79年)、第2代音楽監督・井上道義(83~88年)、第3代音楽監督・クリスティアン・アルミンク(03~13年)、第4代音楽監督・上岡敏之(16~21年)。ダニエル・ハーディングがMusic Partner of NJP(10~16年)、インゴ・メツツマッハーがConductor in Residence(13~15年)、久石譲が新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ(W.D.O.)音楽監督(04~25年3月)、Music Partner(20~25年3月)を務めた。

受賞歴に三菱信託音楽賞奨励賞、三菱UFJ信託音楽賞、ミュージック・ベンクラブ音楽賞等。2023年4月より佐渡裕が第5代音楽監督に就任。街・ホール・オーケストラが一体となった音楽活動を行う。

公式ウェブサイト：www.njp.or.jp 公式X：[@newjapanphil](https://twitter.com/newjapanphil)

公式Facebook：[/newjapanphil](https://www.facebook.com/newjapanphil) 公式Instagram：[/newjapanphil](https://www.instagram.com/newjapanphil/)



© K.Miura

●本公演のチケット料金は消費税込みの価格です。●U25(アンダー25)割引は、公演当日に25歳以下の方を対象として表記料金にて販売するものです。必ず公演当日に生年月日を証明できるものをお持ちください。●身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方との介護者1名さまについては、障がい者割引の適用が可能です。お申し込みはアクロス福岡チケットセンターまでお問い合わせください。●小学校入学前のお子さまの入場はできません。託児サービス(ご利用無料)

託児サービスのご案内(ご利用無料)

託児サービス(生後3ヶ月から小学校入学前のお子さま)をご希望の方は、チケットご購入の後、右記にお申し込みください。受付は公演前日(土・日・祝日は受付を行いません)までですが、定員になり次第、締め切らせていただくことがあります。

お問い合わせは
TEL 0120-8000-29 TEL 092-263-8040
(株)テノ・コーポレーション(月～金曜日9:00～18:00)